

「本の七夕飾り」を飾ります 無料

市民図書館 (J:COM ホルトホール大分2階) 中央カウンター前に、パンブーツリーを設置します。短冊に「お薦めの本」を記入し、楽しく飾り付けをしましょう。

設置期間：7月1日(日)～8月3日(金)
※7月9日(月)・23日(月)は休館日



市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している新刊を紹介しします。



もしぼくが本だったら

ジョゼ・ジョルジェ・レトリア：文
アンドレ・レトリア：絵
KTC中央出版

「もしぼくが本だったら…」という語り口と少しレトロでやさしいイラストから、どんなに本が好きかという作者の気持ちが伝わってきます。大好きな本と秘密を分かち合うって、すてきですよ。

育てて楽しむウメ百科

三輪正幸：著 家の光協会

6月は梅が出回る時期です。梅の栽培方法や収穫方法、収穫した梅を使用したレシピなど多岐にわたる情報が紹介されています。庭の梅の木の手入れや梅酒、梅干しづくりの参考にこの本をお薦めします。



人権・同和教育シリーズ 475

「親戚が結婚を考えていて、その相手が、ほら、あなたの近所に住んでいるの。どんな人かとか、ご家族のこととか知りたくて」ある日、友達からこんな電話がありました。わたしは、つい聞かせるままに自分の知っていることを答えてしまいました。友達が「また電話するから、いろいろ教えてね」と電話を切った後、結婚がだめになるようなことを言っていないか、少し不安になりました。夕食の時に、夫にそのことを話すと「それくらいのこと、結婚ができていくならいいよ」と言ってくれ、わたしは安心しました。しかし、それを聞いていた高校生の娘が「もし、わたしが結婚する時に、相手がわたしや家族のことを調べていると知ったらどう思うの？ わたしだったら、いや！」と少し強い口調で言ったのです。わたしも夫も娘にも何も答えることができませんでした。寝る前に夫と話をしました。夫は「そういえば、身元を調べられ、結婚や就職で差別を受けて、命を絶った人がいることやそんな差別があることを学んだことがあるなあ。今回のこと

友達だからこそ…



人の生き方を考える

は、差し障りのないことしか伝えていないつもりだろうけど、娘が言ったように自分がされたらどうって考えるよ…。本人に黙って調べるといって行為そのものに問題があるんだよ。その中に、偏見や差別心が潜んでいたら、その友達が差別の加害者になってしまうかもしれない。自分たちも…」と言ったのです。もし友達がもっと他の人に聞いたり、あるいは別の方法で調べたりして、差別につながるような情報を得たとしたらと想像し、きちんと断るべきだったのではないかと、思いました。次の日の朝、娘に「あなたの言う通りね。あなたが結婚する時は、相手にお父さんとも話したわ」と伝えました。娘は、笑顔で学校へ行きました。友達にもこの後電話をしなげや。友達だからこそ、自分の今の思いをきちんと伝えよう、と考えています。(ある女性の話より)

何気ない会話からの情報が、何気ない悪意となり、結婚や就職などに影響を与え、差別となっていくことがあります。本人の知らないところで「素性」や「身上」を調べることは、重大な人権侵害なのです。

※大分市における登録型本人通知制度は、個人情報不正請求・取得の早期発見および抑止を目的としています。より多くの人が登録することにより、悪意ある身元調査を未然に防ぐことにつながります。

2018 人権フォトコンテスト 作品募集

光があれば必ず影があるように、日々の暮らしの中には楽しみや喜びだけでなく、痛みや苦しみを伴うこともあります。そして、日常の何気ないやりとりの中に人権を感じる場面はあるものです。言葉にできない秘めた想いや生き生きと輝く瞬間、次世代へつむいでほしい光景など、あなたにとって人権を感じる現在進行形の場面を一枚の写真で表現してみませんか。

テーマ Let's じんけん～光と影～ 次世代へ伝えるべき瞬間

例えば…

- 声にならない熱い想い ● 笑顔の裏にある哀しみ
- 必死に生きている姿 ● 人権が守られていないと感じる場面
- 絶対に許せない場面 ● 語り継いでほしい光景
- 愛するものを守ろうとする姿 ● 子や孫へ伝えたい光景

賞および賞金

- ◎ 最優秀賞 1点 賞状・賞金(5万円)
 - ◎ 優秀賞 5点 賞状・賞金(3万円)
 - ◎ 優良賞 10点 賞状・賞金(1万5,000円)
 - ◎ 佳作 10点 賞状・賞金(5,000円)
- ※中学生以下の賞金は金額相当の賞品とします。

応募資格

市内に居住または通勤、通学しているアマチュアの人 ※応募規定がありますので、市ホームページをご覧ください。

募集期間

6月15日(金)～10月1日(月)〈必着〉



人権フォトコンテスト入選作品『明日へ』 撮影者：内田 由起子さん

募集規格

2L判またはキャビネ判。白黒、カラーいずれでも可。 ※組み写真は不可。また、未発表作品で1人3点までです。

応募方法

人権・同和対策課(第2庁舎4階)、人権・同和教育課(第2庁舎4階)、本庁舎1階案内所、各支所、各連絡所、各地区公民館、人権啓発センター(ヒューレおおいた) (J:COM ホルトホール大分1階)、旭町文化センターに備え付けの応募票(6月15日(金)から市ホームページでダウンロードも可)または自製の用紙に、作品の題名、簡単な説明、人権メッセージ(120文字程度)、撮影年月、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、在学中の場合は学校名・学年を記入のうえ、作品の裏面に貼付して、直接または郵送で、人権・同和対策課(〒870-8504 荷揚町2-31)へ。

その他

入選作品の著作権は市に帰属し、入選作品および人権メッセージは市の人権啓発事業などに活用します。応募作品は返却しません。入選者には11月上旬までに通知します。また、市ホームページにも掲載します。

市民図書館 人権・同和対策課 ☎537-5618

第32回 愛犬・愛猫との写真コンテスト 作品募集



第31回愛犬・愛猫との写真コンテスト 金賞 撮影者：松井 征子さん

テーマ 犬または猫と人とのふれあい

賞 ◎金・銀・銅賞各1点 ◎佳作3点

応募資格 市内に居住する人

募集期間 6月15日(金)～8月17日(金)〈消印有効〉

募集規格 四つ切りサイズまで。白黒、カラーいずれでも可。

※未発表作品で、人と犬または猫と一緒に写っているもの、1人1点。

応募方法 写真の裏面に住所、氏名、電話番号、撮影年月日、犬または猫の名前(犬の場合は登録番号)を記入し、直接または郵送で、保健所衛生課(〒870-8506 荷揚町6-1)へ。

その他 入選作品の著作権は市に帰属し、各種イベント会場での展示や印刷物などに使用します。応募作品は返却しません。

入選者は、秋に開催予定の「親子ふれあい動物フェスタ」で行われる表彰式(日時は後日連絡)への出席をお願いします。

写真にまつわる思い出やエピソードがあれば短いコメントを添付してください。

市民図書館 保健所衛生課 ☎536-2567